



平成26年6月9日

各 位

会 社 名 JALCO ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 田辺 順一
(JASDAQ・コード6625)

問合せ先

役 職・氏 名 取締役管理本部長 大浦 隆文
電 話 050-5536-9824

特別損失の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成26年3月期（平成25年4月1日～平成26年3月31日）通期決算において、特別損失を計上するとともに、平成25年8月2日に公表いたしました平成26年3月期の連結業績予想について修正することとしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別損失の発生について

(1) 破産更生債権等に対する貸倒引当金繰入額（連結）

平成26年2月26日発表「株式会社オムコに対する債権の取り立て不能に関するお知らせ」のとおり、当社子会社株式会社ジャルコアミュージックサービス（以下、「JAS」といいます。）及び株式会社ジャルコ（以下、「ジャルコ」といいます。）の取引先である株式会社オムコ（以下、「オムコ」といいます。）の破産手続きが決定していることから、取立不能と見なされるJASのオムコに対する仮払金2億43百万円とジャルコのオムコ向け貸付金2億円の合計額4億43百万円を破産更生債権等に振替え、その全額を貸倒引当金繰入額として計上する見込みであります。

(2) 取引先不正調査等諸費用引当金繰入額（連結 個別）

平成26年2月25日発表「第三者委員会の設置に関するお知らせ」のとおり、当社は、オムコがJASとの取引において不正行為を行っていた疑義が判明したことに伴い、関連する事実関係の調査、発生原因及び問題点の分析、前記調査結果に基づく過年度の会計処理の訂正の要否の判断、及び会計処理の訂正が必要となる場合、その範囲・影響額の確認などを行うことを目的として、第三者委員会を設置いたしました。その後、平成26年5月30日発表「第三者委員会の調査報告書受領に関するお知らせ」のとおり、過年度の会計処理の訂正を行うことといたしました。

これらに関して、第三者委員会委員への報酬、過年度会計処理訂正にかかる訂正監査費用、顧問弁護士、顧問会計士に対する業務委託費用、有価証券報告書等及び決算短信の訂正にかかる事務費用などの諸費用について見積りを行い、取引先不正調査等諸費用引当金繰入額60百万円を計上する見込みとなりました。

(3) 貸倒引当金繰入額（連結）

平成24年9月の電子機器用部品事業の事業譲渡に伴い、ジャルコが、東北タツミ株式会社に対して全出資持分を譲渡した杭州佳路克電子有限公司向け債権について、同社の業績、財政状態、及び今後の見通しなどを総合的に検討した結果、貸倒引当金繰入額81百万円を計上する見込みとなりました。

(4) 固定資産売却損（連結）

中古遊技機レンタル事業におきましては、レンタル期間終了後、陳腐化などにより再契約に至らなかった中古遊技機について売却を行った場合、売却価額から残存簿価（未償却分 当社は中古遊技機の償却期間を一律1年として減価償却を行っております。）を差し引いた金額について、固定資産売却損益として計上しております。このうち、平成26年3月期第1四半期において固定資産売却益1百万円、平成26年3月期第2四半期において固定資産売却損48百万円（平成25年10月22日発表「特別損失の計上に関するお知らせ」をご参照ください。）を計上した取引において、平成26年5月30日発表「第三者委員会の調査報告書受領に関するお知らせ」のとおり、一部の中古遊技機の取得時期が後ろ倒しになったことに伴い、減価償却費の認識も後ろ倒しになったため、上記売却時における残存簿価が増

加し、上記固定資産売却による損失が増加しております。このため、上記2件における固定資産売却損が80百万円増加する見込みとなりました。

なお、当社は、平成26年2月20日発表「連結子会社における固定資産譲渡及び特別利益の発生に関するお知らせ」におきまして、ジャルコが保有する千葉県松戸市の不動産の一部譲渡にかかる売買契約締結に伴い、平成26年3月期通期決算において固定資産売却益82百万円を特別利益として計上する見込みである旨をお知らせいたしました。しかしながら、当該契約内容の一部に停止条件と解釈される可能性がある条項が存在していること、本日時点で引渡し（当該契約における予定日 平成26年4月25日）が行われていないことなどを勘案し、平成26年3月期における売買として取り扱うことを見送ることとし、収益認識時点を引渡し完了日といたしました。引渡しの遅れについては、開発申請等行政関連の許可手続きにおいて当初想定以上の時間を要していることが主たる理由であります。平成26年7月には引渡し完了の予定であり、平成27年3月期第2四半期におきまして固定資産売却益を計上する見込みであります。

2. 連結業績予想の修正及び修正理由

平成26年3月期通期連結（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	7,000	400	420	430	10円89銭
今回修正予想（B）	1,269	37	36	△496	△11円66銭
増減額（B－A）	△5,730	△362	△383	△926	－
増減率（％）	△81.9%	△90.8%	△91.4%	－	－
（ご参考）前期実績 （平成25年3月期）	790	△246	△202	△342	△26円47銭

（※前期（平成25年3月期）実績に関しましては、平成26年5月30日発表「第三者委員会の調査報告書受領に関するお知らせ」に掲載の過年度決算訂正後の数値を使用しております。）

連結売上高は、前回予想を57億30百万円下回り12億69百万円となる見込みです。これは主に、平成26年5月30日発表「第三者委員会の調査報告書受領に関するお知らせ」のとおり、通期売上高で59億円を見込んでおりました中古遊技機販売事業における売上が、主要取引先であるオムコの不正行為による架空取引に基づくものであったことが判明し、過年度分も含めまして全ての売上について取消処理を行ったことなどによるものであります。

連結営業損失は、当初予想を3億62百万円下回り37百万円、連結経常損失は、当初予想を3億83百万円下回り36百万円となる見込みです。これは主に、売上高の下ぶれによるものであります。

連結当期純損失は、当初予想を9億26百万円下回り4億96百万円となる見込みです。これは主に、経常損益の下ぶれに加えて、平成25年11月に千葉県松戸市に保有する不動産の一部を譲渡したことに伴う固定資産売却益1億16百万円を特別利益として計上したことに対して、「1. 特別損失の発生について」のとおり特別損失を計上したことなどによるものであります。

ご注意：本資料に記載しております業績に関する予想数値は、いずれも本資料の発表時現在において入手可能な情報による判断及び仮定に基づくものであり、実際の業績は当該予想と異なる場合がありますので予めご理解ください。

以上